

写真と俳句のひびき合いを楽しむフォト×俳句一。上水内郡信濃町で10月に開く全国選手権を前に、地元の信濃小中学校写真クラブのみんなが作品づくりに挑戦しました。選手権で審査員を務める写真家

中谷吉隆さん(76)を講師に、学校で写真をとって俳句もつけてみたよ。写真と俳句が合わさるとどんな魅力が生まれるのかな?みんなも挑戦してみてください。

フォト×俳句をつくろう!



夏になり
遊んでいたら
アートだよ

高橋知大君 5年



土の上
ここにもあったか
かき氷

五味沢麻優さん 6年



みんなで写真撮影



俳句も考えたよ



中谷さんが伝授!
フォト×俳句の極意

①写真は、面白いな、カッコいいな、きれいだな、ちょっと変だな、と自分が気になったものをはっきりさせてとうろう!
②俳句は、写真に写っている物の説明にならないように。季語(季節の言葉)を入れると、写真と合わせたときに「ひびき合うもの」が大きくなるよ。

選手権ホームページ

<http://www.shinmai.co.jp/photo-haiku/>

選手権 事前投稿受け付け中!
10月5日(土)に信濃町で開く第4回全国フォト×俳句選手権(信濃毎日新聞社主催)には、事前投稿する部門があつて、①写真・俳句とも自由の部門(自由題の部)と②小林一茶の句(50句)に自分でひびき合う写真をつけの部門(一茶

生誕250年記念の部)で腕前を競います。①②ともに無料で5作品まで投稿できます。しめ切りは8月25日です。10月の選手権当日の修行大会には、小学生も出場できます。信濃町をめぐって一人で写真をとって俳句もつくると部門(高校生以下無料)がメインですが、小学生がお父さんやお母さんとフォト

×俳句を合作するファミリー賞の部もあるので、参加してね。事前の投稿も、選手権当日も、優秀作に選ばれるかカメラや記念品がもらえるよ。くわしくは選手権ホームページ。参加の仕方、選手権についての問い合わせは事務局(026-236-3399)平日08:00~17:00。

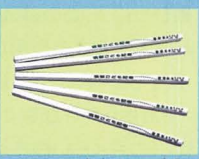
こども記者ニュース 創刊50号記念

こども記者クラブの標語を募集!

こども記者のみなさんに毎月郵送しているミニ新聞「信毎こども記者ニュース」は、2009年6月に創刊し、今回で50号自となりました。取材教室の様子をこども記者がまとめた記事や、こども記者がおすすめする本の紹介コーナー「本のとびら」など、毎月さまざまな話題をお届けしています。

こども記者の意欲的な記事なくしては、50号を迎えることはできませんでした。みなさんありがとう!そこで、50号の節目を記念して、信毎こども記者クラブの標語を募集します。

例「ペンを持ち 広がる世界 記すほく」
「こども記者が伝える 長野県のいま」
「身近な話題を取材してみよう!」



こども記者クラブの活動をPRする言葉やこども記者の楽しさ、魅力を伝える言葉などを20文字以内で考えてください。採用されれば、あなたの標語がな一のちゃんえんぴつにプリントされます!ふるって応募してください!

応募は、①標語②名前③学年④郵便番号・住所⑤電話番号を書き、はがき(〒380-8546長野市南泉町657)か、メール(t-chiiki@shinmai.co.jp)、ファクス(026-236-3193)で信毎地域活動部へ送ってね。問い合わせは同部(026-236-3110)へ。

私の好きな... リレー 地域活動部 西島拓也

①私の好きな本

一つにしほるとすると、宮沢賢治の童話「どんぐりと山猫」です。この物語には、一番えらいのはだれかをめぐって、もめているドングリたちが出てきます。一郎という男の子のところに山猫がやってきて、仲直りさせて、と頼みます。



面白いのは、一郎が示したアドバイスです。何と言ったかという、「このなかで、いちばんばかで、めちゃくちゃで、まるでなっていないようなのが、いちばんえらい」。さわいでいたドングリたちはびっくりしてしまいます。

えらそうなことを言っても、みんな「どんぐりの背比べ」。だったら、少しくらい、他人から見て「めちゃくちゃ」だったっていいじゃない? そんなふうには、はげまされている気がしてきませんか?

信濃毎日新聞社

②私の好きな休日の過ごし方

温泉です。松代温泉(長野市)が、特に、好きです。ゆっくり入って血めぐりがよくなると、いろんなアイデアが浮かんでいきます。

今回は、地域活動部の長沼佳史さん。質問は①私の好きな時間②おそかに持ち歩いているお気に入りグッズ